

機械器具 12 理学診療用器具

一般医療機器 一般的名称：温熱用パック JMDN コード：37240010

マツヨシ レディスホットパック (長方形)

【警告】

1. 本体を当てる部分の温度感覚が鈍っている時（抹消神経麻痺や脊髄炎など）は、火傷を起こしやすいので十分に気を付けて使用すること。
2. 電子レンジ禁止 温熱専用
ジェルパックを加熱しすぎると高温になり、火傷する恐れがあるので、適切な加熱温度、加熱条件で使用する。

【禁忌・禁止】

1. 電子レンジ禁止 湯煎専用
2. 本器は温熱用パックである。他の目的で使用しないこと。
3. 以下の症状を示す人、又は診断を受けた人への使用はやめること。
(1)急性の炎症、悪性腫瘍、出血している部位、出血傾向の強いとき、細胞感染による化膿性疾患、知覚鈍麻のある部位
(2)その他、医師が不適当と判断した人。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状、構造



専用カバー



ジェルパック

サイズ110×100mm×3連結 質量300g

2. 原材料

専用カバー	ポリエステル
ジェルパック	袋：ナイロン、ポリエチレン 内容物：水、CMC、不凍液、防腐剤、着色剤

3. 原理

ジェルパックを加熱又は冷却し、患部に温熱又は冷熱を供給する。

【使用目的又は効果】

加熱媒体の入ったパックを加熱装置で加熱したものを患部に当て、消炎鎮痛処置（温熱治療）を行う温熱用パックである。冷却装置で冷却することにより、冷熱を供給する冷却パックを兼ねる。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1. 使用前
(1)使用前に破損、内容物の漏れ等がないかを確認し、破損等があれば廃棄すること。
2. 冷湿布として使用する場合
(1)冷凍庫で最低1時間冷やす。
(2)ジェルパックを専用カバー又はタオル等で包み、患部に当てる。
3. 温湿布として使用する場合【湯煎専用】
(1)ジェルパックがたっぷり浸かる容器にお湯を沸かし、お湯の温度が85℃±5℃程度になったらジェルパックを温める。
(2)目安3～5分浸漬し、ジェルパックが適温（50℃前後）に温まったら火傷をしないように注意して取り出し専用カバー又はタオル

等で包み、患部に当て使用する。（温度数値は保証値ではありません）。

- (3)温度がじゅうぶんでない場合は、好みの温度になるまで延長する。但し、追炊加熱はフィルムの損傷に繋がるので注意すること。

4. 使用方法に関連する使用上の注意

- (1)加熱時、ジェルパックに異常がないかを適宜確認すること。
- (2)本品を直接火にかけないこと。
- (3)加熱が不均等な場合、ジェルパックを揉んで均等にすること。
- (4)取り出し時の火傷に注意すること。
- (5)必ずジェルパックを専用カバー又はタオル等で包み、患部に直接触れないようにすること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1)皮膚の敏感な部分又は傷がある部分には使用しないこと。
- (2)けが直後の腫れや赤みがある部分には、温湿布として使用しないこと。
- (3)温湿布の場合、30分以上連続で使用しないこと。
低温火傷にならない様に温度調整に注意すること。
- (4)冷湿布の場合、20分使用した後20分休憩すること。
必要に応じ、これを繰り返す。
凍傷にならない様に温度調整に注意すること。
- (5)治療に必要な温度及び時間を超えないよう注意し、同一部位に当て続けないこと。
- (6)使用時は、患者の状態に合わせて患部をよく観察し、不快感があった場合、皮膚に異常が生じた場合は直ちに使用を中止すること。
- (7)就寝中に使用しないこと。
- (8)ジェルパックが破損し、内容物が目や皮膚に触れた場合は、直ちに清潔な水で洗浄すること。
- (9)頻回に加温と冷却を繰り返すと、内容物が変性し、性能低下を招くおそれがある。
- (10)小児の手の届かないところに保管すること。
- (11)鋭利なものを接触させないこと。
- (12)本品を食べないこと。
- (13)冷却したジェルを温める際は常温に戻した後に温めること。
部分的に高温になり大変危険である。

2. 相互作用（併用禁忌）

鎮静剤や塗布剤等と併用しないこと。
電子レンジの加熱は絶対しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 使用後清拭し、付属カバーは洗濯してから保管すること。
2. 本品は、一部消耗品の要素があるので、破損状況を見極め定期的に交換すること。
3. 保管は高温、極寒、多湿の場所や直射日光を避け、先入れ先出しを守ること。（保管・管理に怠りがある場合、劣化の原因になることがある。）
4. 使用期間は原則的に6ヶ月間が望ましいが、破裂や傷が無い場合は使用できる。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄・消毒

使用中に付着した血液・体液・組織・薬品等は中性洗剤、水又はアルコールで湿らせた柔らかい布等で拭きとる。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

松吉医科器械株式会社

住所：〒113-8520 東京都文京区湯島3-14-9

電話：03-5816-8819

製造業者

三重化学工業株式会社（国内）